



本校主催事業の紹介 『第2回親子で自然学校』

8月22日(土)～23日(日)の1泊2日で、自然とふれあう活動を通じて、自然の美しさ、すばらしさを実感し、様々な活動の中で親子のふれあいをより深めることを目的に実施しました。1日目は、「池の生き物さがし」や「カレーとナンづくり」、「キャンプファイヤー」を2日目は、夏の自由工作となる「自然物クラフト」を行いました。



池の生き物さがしでは、じゃぶじゃぶ池に生息している絶滅危惧ⅠB類(EN)の『ナガレホトケドジョウ』や雨乃宮の池にたくさん生息している『イモリ』など、普段目にするのではない生き物に触れることができ、親子で楽しそうに活動されていました。野外炊事では、カレーとともにナンをつくって食べてもらいました。親子で生地をのばしたり成形したりと親子で一緒に活動でき、簡単においしく焼くことができたこともあり、満足に感じた参加者が多かったように思います。キャンプファイヤーでは、家族間の交流も進み、参加者同士の絆が深まったように感じました。自然物クラフトでは、本校の校長とともに竹とんぼづくりにチャレンジした子どもや親子で協力してスギを輪切りにしたものを土台に自然物をあしらったペーパーホルダーなど様々な作品ができました。南但馬自然学校で過ごした2日間には、汗だくになって火おこしを頑張る姿。大きな火を囲んでここで出会った方々と笑顔で楽しんでいる姿。創意工夫を凝らして自然物クラフトに取り組む姿など、普段の家での生活では見られない子どもの姿あるいは、お父さんやお母さんの姿がありました。

《保護者の感想》

- 今回のような催しもとっても楽しかったです。火おこしは子ども達にとって初めての経験で「昔の人は大変やってんな～カレー作るだけにどれだけ時間かかってたのかなあ」と、普段感じられないことをたくさん感じてくれて良かったと思います。キャンプファイヤーもはじめは少し恥ずかしそうにしていた子ども達でしたが、最後はノリノリでとっても楽しそうでした。楽しい夏休みの思い出ができました。
- 親がとっても真剣になる火おこし、よかったです。親が頑張っている姿、どう思ったかな？たくさん頑張ったのでカレーがおいしかったです。
- 親子で楽しい思い出ができ幸せに感じています。普段家では子ども達とのかかわりが薄い主人が子ども達とカレーを作ったり工作したり、楽しそうに本当に参加して良かったと思っています。



『自然学校講座(前期)』開催

大学生や一般県民、県下の公立学校教員、その他自然学校に関心のある方を対象に、自然学校の趣旨や指導者の役割を理解するとともに、野外体験活動等の実習を通して、指導者としての資質能力を高めることを目的に8月25日(火)～27日(木)の2泊3日で開催しました。1日目は、雨の中での研修となりました。午前中は、山田校長が講師となり、自然に関する講義と実習を行いました。『見たことは覚えており、体験したことは理解する』という言葉から



体験教育の重要性を語られていたが、それは自然教育の場面だけでなく、学校現場にもあてはまることだと思い、改めて重要性を認識した。体験教育は学校の外で行われるようなイメージが自分のどこかに残っていたが、そうではなく教育全てにとり行われるべきものだったと思った。そういった意味で今回の講座はとても勉強になった。自分も体験をしていくことで見る、聞くだけでは感じる事が出来ないことがたくさんあることを知ることが出来た」という参加者の感想を得ました。

午後からは、樹木医で林業技士の稲葉 広様を講師に迎え、木の伐採の仕方などを講義いただき、実際に参加者の手で、ヒノキを伐採し、それをもとにクラフトを行いました。「木の伐り方には細かいルールがあり、その一つ一つにちゃんと意味があり、その通りに行わないと重大な事故につながったり、エネルギーを無駄にしたりすることになることを体感できとても良い経験になった」と知識だけでなく体験を伴うことの大切さを感じてもらえました。



2日目は、関西学院大学 甲斐知彦教授を講師に「リスクマネジメント研修～野外教育の視点から～」をテーマにした講義と演習を行いました。事故を防ぎ、被害を最小限にする取組の具体例を示しながら講義いただきました。自分が犯しやすいヒューマンエラーを知り、その対策なども学びました。グループで演習を行い発表したり、問題解決をしたりととても充実した講座であったと参加者からは好評でした。午後からは、リスクマネジメントを念頭に置いて、隠れ家づくりに

取り組みました。この講座で初めて顔を合わせた方々で作ったグループで取り組んでいただきましたが、「グループで協力する楽しさや課題を解決するチームワーク、最近ではあまり味わえない楽しい一時を送ることが出来た」と隠れ家づくりのねらいを体感していただくことができました。

3日目は、野外炊事を中心に実習していただきました。指導上での基礎・基本や危険を察知する第六感について学びました。ケガが多い野外炊事で、子どもたちへの言葉かけの大切さも理解してもらいました。

後期は、2月27日(土)～28日(日)の2日間で行います。来年度5年生を担当する予定あるいは、自然体験活動に興味・関心をお持ちの先生にぜひ受講していただきたいと思えます。



紹介した2つの主催事業で共通する活動として、野外炊事があります。「親子で自然学校」では、“ご飯”ではなく、“ナン”を焼きました。「自然学校講座」では、カレーの食材をもとに“カレー風皿うどん”や焼きそばの食材をもとに“広島風お好み焼き”をつくりました。自然学校講座では、大人がつくりましたので、多少手が込んでいますが、少しのアレンジで、これまでとは違った野外炊事も可能ではないでしょうか。

編集後記

自然学校講座には、小学校の先生方も参加されていきました。忙しい時かもしれませんが、第2回や来年度の参加者が増えることに期待しています。また、紹介した活動を2学期からの自然学校のヒントにしていただけると幸いです。

(文責 主任指導主事兼指導課長 御栗 康嗣)